

AXAは1817年にフランスで生まれ、
世界57の国と地域、約9,600万人のお客さまから信頼をいただいている
世界最大級の保険・資産運用グループです。

運用資産総額 約 **133兆1,382** 億円
(約1兆140億ユーロ)

総売上 約 **11兆6,800** 億円
(約901億ユーロ)

純利益 約 **4,665** 億円
(約36億ユーロ)

世界に 約 **21** 万6,000人の従業員

世界に 約 **9,600** 万人のお客さま

アンダーライニング・
アーニングス
(基本利益) 約 **4,994** 億円
(約39億ユーロ)

世界 **57** の国と地域で
事業展開

S&P 保険財務力格付け **AA-**



数値は2009年AXAグループ実績

※ 換算レート

総売上、売上、アンダーライニング・アーニングス、純利益：1ユーロ=¥129.60(2009年平均)

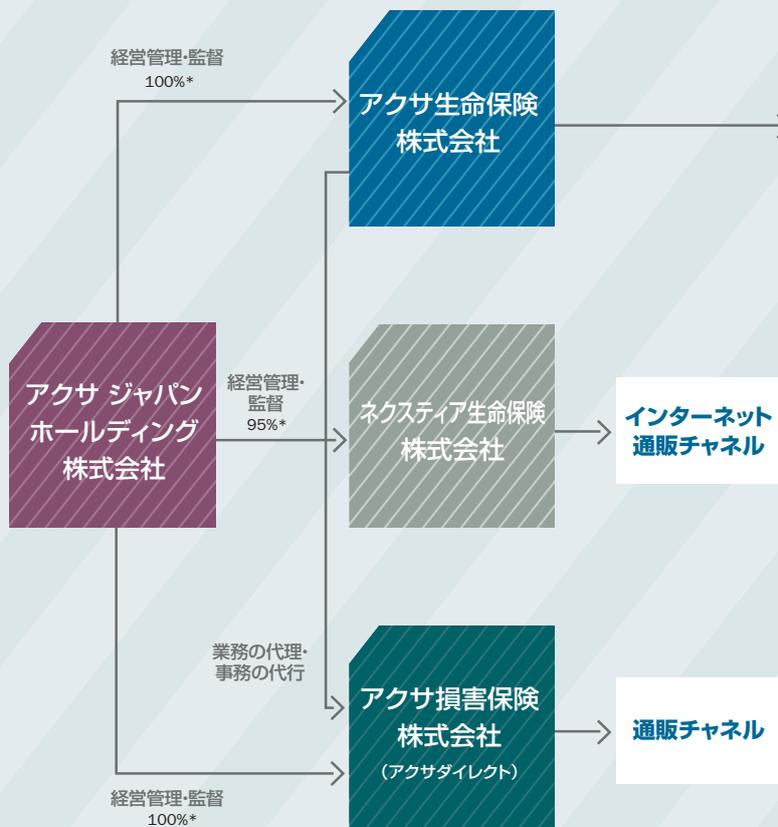
運用資産総額：1ユーロ=¥131.30(2009年12月末)

※ 標記の格付けは2010年6月末時点のAXAグループの中核事業子会社に対する評価であり、将来的には変化する可能性があります。また、格付けは格付機関の意見であり、保険金支払い等についての保証を行なうものではありません。最新の格付けはスタンダード&プアーズ社のホームページをご覧ください。

AXAは日本において、保険、資産運用、アシスタンスなど
 フィナンシャル・プロテクションに関わるさまざまな分野で事業を展開しています。
 保険分野を担当する3社を中心に、AXAのメンバーカンパニーが密に連携しながら、
 お客さまの一生をサポートする商品・サービスをご提供しています。

**幅広い販売チャネルで、
 お客さまに最適なソリューションをご提供します**

AXAは日本において、さまざまな販売チャネルを通じて保険に関連する商品・サービスをご提供しています。各チャネルには、それぞれの特性に応じた専門の教育を受けた社員を配置し、お客さまのニーズに対して最適なソリューションをご提供できる体制を整えています。



*アクサ ジャパン ホールディング株式会社が所有する議決権の割合

専属営業社員

アクサ CCI チャネル

全国の商工会議所の共済制度や福祉制度の引受保険会社として、専門知識を持った専任の営業社員を通じて、経営者のリスク対策、事業継承対策、従業員の福利厚生プランのご提案などを行なっています。

アクサ FA チャネル

フィナンシャル・プランニングの知識を有する専門の担当者が、ライフプランのアドバイスを通じて資産形成ニーズにあわせたソリューションを提供する、付加価値の高いコンサルティングサービスを行なっています。

アクサ FS チャネル

働く女性のお客さまに対して、同じ目線でアドバイスできる専門の女性営業社員が、付加価値の高いコンサルティングサービスを行なっています。

代理店

アクサ エージェント チャネル

保険プロ代理店、税理士、公認会計士、保険ショップなど、全国約3,000のプロフェッショナルな代理店を通じて、個人・法人のお客さまに対するリスクマネジメント、コンサルティングサービスのご提案を行なっています。

法人営業

アクサ コーポレート チャネル

企業や官公庁、組合などの団体向けに福利厚生制度導入のサポートを行なっています。約1,700を超える企業・団体の従業員、そのご家族、退職者の方々のニーズにあわせた最適なソリューションのご提案を行なっています。

金融機関

アクサ 金融法人 チャネル

銀行や証券会社などの金融機関で、変額個人年金保険などの資産形成型商品の窓口販売を通じて、お客さまに最適なソリューションのご提供を行なっています。

その他のAXAメンバーカンパニー

資産運用サービス

- アクサ・ローゼンバーク証券投信投資顧問株式会社
- アライアンス・バーンスタイン株式会社

不動産投資・資産管理サービス

- アクサ・リアル・エステート・インベストメント・マネジャーズ・ジャパン株式会社

アシスタンスサービス

- アクサ・アシスタンス・ジャパン株式会社

CONTENTS

04_ トップメッセージ

06_ トピックス

07_ アクサ ジャパンのCR経営

08_ CR経営を支える基本的な取組み

内部統制とコーポレート・ガバナンスの充実

09_ お客様の声を経営に活かす取組み

情報提供について

09_ 魅力ある職場づくりのための取組み

Scope(従業員意識調査)の実施

10_ コミュニティの発展に貢献するための取組み

アクサ ジャパンの活動

AXAグループの活動

11_ 環境を守り、次世代へと受け継いでいくための取組み

法令への対応

11_ 購買行動を通じて「持続可能な開発」を広めるための取組み

プロキュアメント・サステイナブル・デベロップメント・スタンダード

購買活動に関する倫理ガイドライン

DATA 資料編

12_ I 経営方針

12_ II 保険持株会社の概況及び組織

15_ III 保険持株会社及びその子会社等の概況

16_ IV 保険持株会社及びその子会社等の主要な業務

18_ V 保険持株会社及びその保険子会社の財産の状況

“

私たちは責任ある姿勢でビジネスに取り組み、
すべてのステークホルダーとの信頼関係を築くことで、
選ばれる企業となることを目指してまいります

”



2009年度の事業概況をご報告させていただくにあたり、日頃より愛顧いただいている皆さまにご挨拶申し上げます。

2009年度、アクサ ジャパン ホールディングは生保事業、損保事業ともに好調な業績を実現することができました。これもひとえに、日頃よりお支えいただいている皆さまのご支援の賜物と厚く御礼申し上げます。

生命保険事業につきましては、新たに導入した新戦略が奏功し、運用環境の回復と相俟って、財務収支を大幅に回復させることができました。また2009年10月には、アクサ生命とアクサ フィナンシャル生命を合併し、事業効率とお客さまの利便性を同時に向上させることができました。さらに今年2月には、ネクステア生命（旧SBI アクサ生命）を子会社化し、今後急速に成長が見込まれるインターネットを通じた生命保険事業を強化していくための布石といたしました。

損害保険事業につきましては、新たに団体傷害保険の販売を開始し、商品ラインナップの充実を図るとともに、自動車保険と医療保険の銀行窓販を開始いたしました。

AXAのコアビジネスであるフィナンシャル・プロテクションは、経済的なりiskから人々や事業をお守りするという社会的に重要な役割を担っています。AXAでは、2010年をCR（企業の社会的責任）の元年と位置づけ、私たちのこうした取組みをお客さまをはじめとするあらゆるステークホルダーに対してよりわかりやすい形でお伝えしていくとともに、CRに関する取組みをより強化し、人々や社会にとって真に意味のある形でビジネスを展開していきたいと考えております。

私たちは責任ある姿勢でビジネスに取り組み、すべてのステークホルダーとの信頼関係を築くことで、選ばれる企業となることを目指してまいります。今後ともご愛顧のほどよろしくお願いたします。

2010年7月
アクサ ジャパン ホールディング株式会社
取締役 代表執行役社長兼 CEO
マーク・ピアソン

A handwritten signature in black ink, appearing to read "Mark Pearson".

Strategic Narratives

ストラテジック ナラティブ

アクサの企業理念と経営方針

Strategy Ambition V

私たちは、幅広い商品と多様な販売チャネルを通じて、
中小企業、リタイアメント、独身者、銀行窓販という4つの市場にフォーカスし、
2012年までに企業価値を50%増加させることを目指します。

Culture

強固なバリューに支えられたハイパフォーマンスカルチャー

日本で真にお客さまから選ばれる企業となるためには、
信頼を重んじる企業文化を醸成することが不可欠です。

そのために私たちは、常にプロフェッショナルとして、
変化に前向きに取り組み、お客さまを大切に、
全社員が高い参画意識を持って仕事に取り組みます。

私たちのすべての行動は、
プロフェッショナリズム、革新性、現実的な考察力、チームスピリット、誠実
という5つのバリューによって支えられています。

Vision

**私たちは選ばれる企業、
そして信頼されるマーケットリーダーとなることを目指します。**

選ばれる企業になること。

それはお客さまから信頼をいただき、社員を尊重して報い、育成すること。
そして株主に対しては利益と健全な評価をお届けすることを意味します。

私たちは責任ある姿勢でビジネスに取り組み、
すべてのステークホルダーとの信頼関係を築くことで、選ばれる企業となることを目指します。

Mission

私たちは、ご家族や財産をリスクからお守りし、貯蓄や資産を管理することによって、
お客さまの人生に安心をご提供します。

日々移り変わる人生には、さまざまな困難が起こり得ます。

私たちはそんな時、お客さまのそばにいて、
新たなチャレンジと将来への備えをサポートします。

TOPICS

SBIアクサ生命を子会社へ

2010年2月16日、アクサ ジャパン ホールディングはSBIアクサ生命の株式の95%を取得、当社の子会社としました。

SBIアクサ生命は、2006年10月にソフトバンク(5%)、SBIホールディングス(55%)、アクサ ジャパン ホールディング(40%)の共同出資により誕生した日本初のインターネット専門の生命保険会社で、アクサ ジャパン ホールディングは、このうちSBIホールディングスが保有していた55%の株式を取得しました。

SBIアクサ生命は、2010年5月に「ネクステア生命」に社名を変更し、アクサのメンバーカンパニーとして、インターネットによる生命保険販売の規模拡大に注力しています。

アクサ生命とアクサ フィナンシャル生命を合併

2009年10月1日、アクサ生命とアクサ フィナンシャル生命を合併しました。

この合併は、事業効率の向上と財務基盤の強化、そしてお客さまサービスや商品開発の強化を目的として実施したものです。合併に伴って、両社のコンサルティング営業部門をアクサ生命に統合するとともに、金融機関を通じた窓販ビジネスをアクサ生命に移管し、「アクサ 金融法人チャンネル」を新設。アクサ フィナンシャル生命が行ってきた金融機関の窓販ビジネスを引継ぐとともに、大都市圏におけるコンサルティング営業のプレゼンスの拡大を図りました。



おかげさまでアクサは15周年を迎えました

15
Years
in Japan

2010年4月、アクサ ジャパンは日本での事業開始15周年を迎えました。1995年にゼロから事業をスタートさせたアクサ生命は、現在では約400万人の個人のお客さま、約2,500社の法人のお客さまから信頼をいただいております。お客さまのさまざまなライフステージにおいて、ニーズにあわせた商品・サービスをご提供すること。そしてお客さまとご家族の暮らしに安心をご提供すること。アクサ ジャパンはこれからも、こうした私たちの使命を果たしていくことを通じて、より多くのお客さまに信頼していただける会社となることを目指します。

アクサ 日本のCR経営

フィナンシャル・プロテクションを提供する私たちのビジネスは、人々の暮らしに安心と安全をもたらし、社会の持続的な発展をサポートするという社会的に重要な役割を担っています。

アクサ 日本の考えるコーポレートレスポンスビリティ(CR)とは、こうした社会的な役割を、企業として責任ある行動をとることによって果たしていくこと。そして、私たちのコアビジネスを通じて蓄積してきたリスク管理の専門家としてのスキルやノウハウを活かし、経済の持続的な発展や社会の利益に貢献していくこと。

アクサ 日本では、こうしたCRの視点を日々のビジネスのなかに組み込み、企業文化の一部として浸透させていくことによって、アクサ 日本に関わるすべての方々から信頼され、選ばれる企業となることができると考え、その実現に向けて日々努力し続けています。

主要なステークホルダー

私たちのビジネスは、日々さまざまな方々と関わり合うことによって成り立っています。

アクサ 日本では、6つの主要なステークホルダーを掲げ、それぞれにおいて課せられた社会的役割を認識し、その責任を果たしていくことに注力しています。

→ 次ページ以降でこうした取組みの一部をご紹介します

